



学校便り

令和3年度-NO.7

子どもは誰でも芸術家

パブロ・ディエゴ・ホセ・フランシスコ・デ・パウラ・ホアン・ネポムセーノ・チブリアーノ・デ・ラ・サンティシマ・トリニダード・ルイス・ピカソ。一般的にはパブロ・ピカソで知られる画家の本名です。落語でいうところの寿限無のような長い名前ですね。ピカソはキュビズムの創始者として、一風変わった画風（鼻の曲がったような顔）の絵で有名です。絵画は平面で表現するので、普通は一つの視点に基づいて描かれますが、キュビズムとは、いろいろな角度から見た物の形を一つの画面に収めて描くという革新的な画法です。正面を向いている顔に横から見た鼻がくっついているので、鼻だけ曲がっているように見えるのですね。美術的価値も高く、2015年には「アルジェの女たち」という絵が約215億円で落札され、絵画取引の最高額を更新しました。

そんなピカソの絵も、最初から高評価を得ていたわけではありません。当時、キュビズムは美術界から受け入れられず、友人の画家からも「醜く荒々しい」と評されていました。「ひまわり」で知られるゴッホの絵も、今では何十億円という価格で取引されますが、彼の生前に売れた絵はたったの一枚だけでした。何が素晴らしい絵で、どれが価値のある絵かなんて、特に素人にはさっぱり分かりません。見た人が単純に「これ、好き」と思った絵が、きっとその人にとって良い絵なのでしょう。

ピカソはこんな言葉を残しています。「誰でも子供のときは芸術家であるが、問題は大人になっても芸術家でいられるかどうかである」「ようやく子どものような絵が描けるようになった。ここまで来るのにずいぶん時間がかかったものだ」。言葉の真意は分かりませんが、子どもの表現力はその時期に特有のもので、大人になるにつれ失われるもの、ということでしょうか。武庫小学校では今、大人には真似のできない作品が次々に生み出されています。それらが今月の下旬から体育館に一堂に会し、図工展が開催されます。ピカソやゴッホに次ぐ、いやそれを凌ぐ可能性を秘めた作品たちの登場です。

個人的なことですが、私は学生の時に彫塑をしていました。石でトルソー（胴体部分を造形した彫刻）を作って展覧会に出品しました。私自身、会場にはいませんでしたが、展覧会期間中ずっと私を見られていたような不思議な感覚がしていました。作品って、その人自身なんですね。図工展が開かれる体育館には子どもは一人もいませんが、我が子そのものの分身、あるいは普段は見せないような一面を覗かせる我が子を発見することでしょう。今この時にしか表現できない芸術家たちの個性溢れる作品をご鑑賞いただければ幸いです。

作品も 服の汚れも 芸術だ！！



(校長 河合 康一)

【11月の予定】

- 1日（月）委員会活動
- 2日（火）視力検査（3年）
- 3日（水）文化の日
- 4日（木）視力検査（6年・のぞみ）
自然体験（5年）
- 5日（金）視力検査（5年）
- 8日（月）～9日（火）修学旅行（6年）
- 10日（水）視力検査（2年）
社会見学（3年）
- 11日（木）避難訓練
- 12日（金）視力検査（1年）
- 15日（月）視力検査（4年） 集会
- 16日（火）視力検査（欠席者）
- 18日（木）校区探検（2年）
- 22日（月）委員会活動
- 23日（火）勤労感謝の日
- 26日（金）図工展
- 27日（土）図工展・オープンスクール
- 29日（月）代休日
- 30日（火）社会見学（3年）



【体育大会のお礼】

先月は体育大会を実施しました。人数制限など様々な制約の中での開催でしたが保護者の皆様にはルールを守って参観していただきました。また、育友会執行部の方々には、受付係として大変お世話になりました。ありがとうございました。

先週は5年生が、日帰りでしたが有馬富士へ自然体験に行きました。来週は6年生が一泊二日で修学旅行に行きます。今月末には図工展が開催されます。マスク着用を除けば、学校の日常が戻ってきたようです。もちろん、感染症対策は引き続き行っていますが、できることはどんどん取り組んでいき、学習も「収穫の秋」になればと思っています。

【体操服について】

体操服などを扱うスズキ学生服から連絡がありまして、体操服の値上げについての打診がありました。デザインを変更すれば値上げ幅も小さくなるので、その方向で話を進めています。現行のデザインは、胸の辺りに逆三角形の紺色の部分がありますが、変更後は、紺色の部分が首回りのみ（幅2cm程度）になります。もちろん買い替えるまでは現行の体操服を使用させていただいて結構です。価格など詳しくは、先日配布しましたスズキ学生服からのお手紙をご覧ください。